

事業所名 通所介護ふたば庵

令和4年度第2回運営推進会議開催報告書

開催日時 令和5年1月20日(金) 15:30~16:30		
参加者		議題
利用者	0名	1. 施設概要
利用者家族	0名	2. 利用実績
地域住民の代表者	2名	3. 活動内容
市職員	1名	4. 新型コロナウイルス感染症について
地域包括支援センター	1名	5. 令和4年度の取り組み
事業所	3名	～歩行訓練のバージョンアップ
		6. 今後の課題
		7. 意見、質問
会 議 録		
<p>1. 施設概要</p> <p>2. 利用実績</p> <p>3. 活動内容</p> <p>4. 新型コロナウイルス感染症について</p> <p>5. 令和4年度の取り組み～歩行訓練のバージョンアップ～</p> <p>6. 今後の課題</p> <p>※1～6はパワーポイントを用いて説明。</p> <p>7. 意見、質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動で今後具体的に考えていることはありますか？ →ふたば庵として、どのようなことができるのか模索中です。 「日曜日にふたば庵を開放して何かできないか?」「コロナ前に行っていたふたば庵祭りに替わる催しはできないか?」などなど模索中です。 ・ふたば庵のご利用者と職員が歩いている姿を見かけます。600mコースは急な坂があるので、歩いている方がいるのに驚いています。 →現在2名の方が600mコースを歩かれています。 		

- 実際に両親の介護を始めて、歩くことの大切さを感じました。皆さんの大変さが分かってきました。ふたば庵の皆さんが歩いているのをよく見かけます。雨の日や猛暑で歩けない時の工夫が考えられていてよいと思いました。
→ありがとうございます。今後も歩くことに力を入れて参ります。
- コロナウイルス感染予防をしっかりとされているのがわかりました。
→同居家族の感染や主介護者が濃厚接触者になった場合など、ご利用者が感染してない場合はできる限りふたば庵を利用して頂きたいと思っています。しかし他のご利用者への感染も考えなければならないので、どこまで受け入れていくのかが課題となっています。
濃厚接触者や罹患し隔離期間が明けたあとも、本人の体調確認や検温などしっかりと行って利用して頂いております。
- ふたば庵に初めて来ました。活動内容等色々考えられているのが良くわかりました。コロナの感染対策もしっかりとされていますね。瀬戸市内でもクラスターになってしまった施設があります。今のところ壊滅的な状況にならず踏みとどまっているので、福祉関係の皆様には感謝です。市役所で何か力になれることがあれば、いつでも相談して下さい。
→ありがとうございます。その際は相談させていただきます。